



例題と解説

例題 1

□にあてはまる等号、不等号を書きなさい。

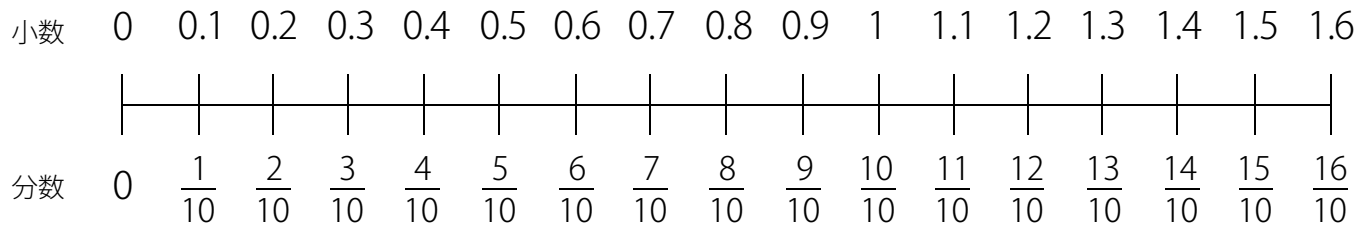
(1) $\frac{1}{10}$ □ 0.1

(2) $\frac{7}{10}$ □ 0.5

答え (1) = (2) >

[例題 1 の解説]

分母が10の分数と小数の関係を表しています。



0.1と $\frac{1}{10}$ はともに1を10等分しているので、大きさは同じであることがわかります。

0.1と $\frac{1}{10}$ は同じなので $0.1 = \frac{1}{10}$ ということになります。

0.5と $\frac{5}{10}$ は同じなので $0.5 = \frac{5}{10}$ ということになります。

1.3と $\frac{13}{10}$ は同じなので $1.3 = \frac{13}{10}$ ということになります。



例題と解説

- (1) $\frac{1}{10}$ と0.1は同じなので $\frac{1}{10} = 0.1$ です
- (2) $\frac{7}{10}$ は0.7なので0.5より大きいです。 よって $\frac{7}{10} > 0.5$ となります。

分数と小数の大きさをくらべるときは分数か小数のどちらかにそろえてくらべましょう。

ポイントまとめ

- ・ 0.1と $\frac{1}{10}$ はともに1を10等分しているので、大きさは同じです。
- ・ 0.5と $\frac{5}{10}$ は同じなので $0.5 = \frac{5}{10}$
- ・ 1.3と $\frac{13}{10}$ は同じなので $1.3 = \frac{13}{10}$
- ・ 分数と小数の大きさをくらべるときは分数か小数のどちらかにそろえてくらべましょう。